



澁川市新市建設計画と総合計画

南雲 鋭一 議員



大同特殊鋼のスラグは廃棄物と  
認定された 撤去はいかに

角田 喜和 議員

**質問** 新市建設計画5年間延長のとき「総合計画との関連性、継続性を重視する」とありました。次期総合計画は平成30年4月からスタートすると思います。平成28年度は検討時期に入ります。どのようになっているか聞きたい。

新市建設計画は5年間延長されました。地域審議会の任期も延長されるべきと思う。条例改正の提案はいつ出すのか聞きたい。

**企画部長** 新市建設計画では現行の総合計画との連続性、継続性を重視して変更しました。平成30年



赤城南診療所跡地

度からの新たな総合計画では、現行の総合計画との連続性、継続性を図ることが必要で、これにより新市建設計画との整合性が図られます。

また地域審議会の延長については、新市のさらなる一体感の醸成を踏まえ、地区を越えた全市的な取り組みが重要であることから、条例改正を行わずに、平成28年3月31日で終了と考えています。

**質問** (仮称) 東部学校給食共同調理場の「総合計画に基づいて対応」、市長は「合併特例債5年延長しましたので、それ以内でやる」と回答。具体的な事業計画が作成されているならば聞きたい。

**学校教育部長** 赤城南診療所跡地に1500食規模の調理場を整備したいと考えています。具体的な整備年度は決まっていませんが、今後、合併特例債の活用期限なども踏まえ、総合的な財源調整を図っていく中で、決定していきたいと考えています。

**質問** 県は、スラグを産業廃棄物と認定した。産業廃棄物であれば毒がある・なしに関係なくすべて撤去すべきである。市民は納得しない。なぜ一部分の撤去なのか。

**建設部長** 市では以前から、国、県、市で構成する「鉄鋼スラグに関する連絡会議」で決定した方針に基づき対応することとなっております。今回方針が出ましたので、それに基づき対応したいと考えています。

**質問** 撤去にかかった経費は、大同特殊鋼に相談するのではなく、請求書を出せばいいのではないかと。市民はそう考えているがどうか。

**建設部長** 大同特殊鋼株式会社澁川工場とは、今後鉄鋼スラグの処理費について協定を結び、個々の現場事情にあった対応をしたいと考えています。

**5000立方メートルの残土はどこに**

**質問** (仮称)北橘運動場建設工事当初設計と変更設計で掘削する土量は変わらないのに、約5000立方メートル近く土の処理が合わない。その理由は。



消えた！着工前にあった黒土

**建設部長** 土量については実績をまとめたものであり、設計数量の見直しにより土量の差が生じたものです。

**質問** (仮称)北橘運動場建設工事に関わり、砂ほこりによる農作物被害について、市が業者と農家の間に入り調整していると答弁があった。どんな調整をしてきたか。  
**生涯学習部長** 11月26日の新聞報道で、同農家が損害賠償を求めて提訴したとのことであり、今後、裁判の中で事実関係及び市の主張を明らかにするので、現時点での答弁は控えさせていただきます。

# 一般質問



川久保踏切



渋川市と吉岡町との連携協定の件  
入内島 英明 議員

**質問** 広域的視点から諸課題を調査、研究するようだが、どのような事項か。

**企画部長** 10月19日に「渋川市及び吉岡町地域連携に関する協定」を締結し、八木原駅周辺整備や吉岡バイパスの延伸等について、2市町で調査・研究を行います。

**質問** 吉岡バイパスを北上延伸させ、サントリー南の道路を西に延伸、合流させる案だが、県道として申請できないか。

**建設部長** 県道として整備するには、1つの自治体では難しく2つの自治体で要望することがより実

現する可能性はあると考えます。

**質問** 現川久保踏切を南に移動し平面交差踏切にできないか。

**建設部長** 都市計画道路半田南線は、橋りょうによる立体交差の計画です。平面交差に変更する場合には、県の指導を仰ぎ、関係機関とも協議を行い検討していきます。

## 渋川市山車展示建設の件

**質問** 観光客誘客対策として、市の有形重要文化財の山車を1カ所に集め展示できないか。

**商工観光部長** 山車を市で管理するには、それぞれの地区と協議を行った上で課題を解決していく必要があると考えています。

**質問** 観光名所が少ない渋川市であるが、アルテナード街道付近に、山車展示場ができれば、集客対策向上につながると思うが。

**商工観光部長** 山車を展示するには、文化財として管理することとなり、保全維持するための管理体制や経費、滅失の危険性の回避等解決すべき課題が多いことから建設は困難であると考えています。



人権を大切にしている渋川市であるために  
加藤 幸子 議員

**質問** 「市いじめ問題対策連絡協議会等条例」を12月議会で議決。いじめの対象になりやすい、性同一性障害などのLGBTへの正しい知識を学校・職場・幼児教育の現場で早急に学ぶ機会が必要と思うが。

**学校教育部長** 性同一性障害に関する理解不足が原因で、いじめが起こることはあってはならないことです。人権教育研修会等で理解を深め、対応を充実していきます。

**質問** 有馬野球場の駐車場確保と交番・駐在所の配置の見直しを。

**生涯学習部長** 地元自治会長から駐車場確保について、計画が整えば協力すると伺っています。

**総務部長** 渋川警察署移転に関連した交番等の位置変更は、今後の警察署判断を待ちたいと考えます。

**質問** 多子世帯の保育料の引き上げはないか。また第四保育所建て替え時に民営化を検討しているか。

**保健福祉部長** 第三子以降無料化拡充や未満児保育料の減免を行いました。保育所整備は、庁内検討



八木原駅の男女共用トイレ

委員会です十分に協議していきます。

**質問** 八木原駅男女共用トイレの防犯カメラの設置はなされたのか。

**総務部長** 駐輪場防犯カメラにより対応が可能のため、トイレ入口に「防犯カメラ作動中」の表示を設置し、犯罪抑止に取り組みます。

**質問** 市長は高齢者の足確保のためデマンドバスを走らせると言っていますが、今後の高齢者足確保対策は。

**市長** 高齢化社会が進む中、高齢者の足の確保は重要です。デマンドバスのほかにも運行方法はいろいろあるので、研究したい。

※LGBT 性的少数者を限定的に指す言葉